

# ひたちおおたの文化

第21号

常陸太田市文化団体連合会  
事務局  
常陸太田市教育委員会  
文化課文化振興係  
発行責任者  
会長 黒羽文男



創造力やひらめき等人間の持っている特性を最大限に発揮するには、人間それぞれの個性や特性を理解し補助する事が重要です。この様な事が可能なアプリが将来できるかもしれませんが、人間の持つ欲望は留まる事が有りません。これは人間の良い所でもあり悪い所でもあります。ただ、何かを作り上げたり習得したりして、その人の心の中に豊かさや喜びが感じられたら幸せな事だと思います。

本年は、新しい天皇が即位され元号が変わります。また、茨城国体が開催され、さらに来年は東京オリンピックが開催されるなど、時代が大きく動く年となります。

私たちが普段生活している中にも、少しずつ時代の変化が押し寄せてきています。例えば、テレビや携帯電話、様々な家庭電器製品などがあります。その製品の中にはマイクロコンピュータが埋め込まれ、通信機能を駆使することで、使い勝手の良い製品となり、現在、数多くの物が出回っています。これは、半導体技術が日進月歩で進化しているおかげです。スマホと言われる携帯電話には、カメラやマイク、スピーカー、通信機能と、色々なセンサー等の入出力装置が組み込まれており、これを動かすアプリと言われるソフトウェアが携帯電話を様々な装置へ変えています。文章を書くことができ、キーボードは不要で、音声入力機能を使い書くことが出来ます。作曲用アプリでは画面に表示された鍵盤をタップする事で曲が作れます。ビデオ編集アプリでは、携帯電話で撮影した動画を編集してすぐ見る事が出来ます。ただ、若者が使いこなすのは簡単でも私には難しく、人工知能が進化し一つずつ操作を覚えてくれる機能が付くのを待ちたいと思います。



## 時代の流れ

常陸太田市文化団体連合会  
会長 黒羽文男

# 加盟団体活動紹介

## ポニー・アイランダーズ



代表 須藤 三生郎

ポニー・アイランダーズは、ハワイアン・ミュージックを中心に楽しんでるハワイアンバンドです。元々は、昭和四十年代に活動していた大学生によるハワイアンバンドでした。私はそのバンドに所属しており、社会人になってハワイアンバンドを立ち上げた時に、このバンド名を継承しました。学生時代を含むと、半世紀近くもスチールギターを演奏しています。

時代の流れとともにハワイアン・ミュージックも今では大昔の音楽といったイメージとかわれていません。私たちのバンドはハワイアンサウンドを奏でることを目標にしています。

ハワイアンバンドの特徴は、スチールギターとウクレレが入っていることです。スチールギターは「和田弘とマヒナスターズ」で和田弘さんが弾いていた楽器で、弦が六〜八本あるギターを水平に置いて演奏し

ます。左手に持った長さ八センチ、直径二センチ程の鉄の棒で音を調整し、右手の親指・人差し指・中指にはめたピックで弦をはじきます。ギターのように固定されたフレットがないので、的確に音を奏するのはとてもむずかしい楽器です。一方、ウクレレは弦が四本なので演奏しやすく、気がるに楽しめる楽器です。主



にリズムを奏でます。

私たちのバンドは、こうしたハワイアン楽器の特徴を生かしたサウンドを楽しんでいます。曲のレパートリーはハワイアンに限らず、ムードあふれる映画音楽、ジャズ、ラテン、歌謡曲、愛唱歌など千差万別です。

現在、バンドのメンバーは七名です。練習は生涯学習センターで日曜日の午後二時から四時までおこなっており、演奏活動として、鯨ヶ丘の夜市や高齢者福祉施設に出向き、楽しんでもらっています。

新しいバンドメンバーの募集をし

ておりますので、興味のある方は、ぜひ練習にご参加ください。ホームページで曲を聴くこともできます。  
(<http://www.sudo.server-shared.com>)



常陸太田古文書に親しむ会

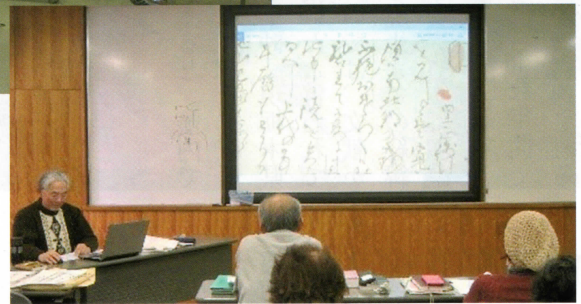
代表 大内 仁

「古文書って何?」

私たちは、「くずし字で書かれた昔の文書」と幅広くとらえ、興味ある文書は何でも取り上げています。全員、入会前は古文書との付き合いのない初心者でしたが、参考書やネットで調べ、会員同士で読み合わせで古文書解読に親しんでいます。

古文書解読の楽しみは各人各様ですが、過去に親近感を持つことと、子供のように素直に「これは何?」と疑問を持つことは、皆が共感するところです。江戸時代の古文書が主ですが、中世から明治の様々な古文書を読んでいます。常陸太田市民におなじみの『常陸国北郡里程間数之記』という本があり、解読文も幾つかありますが、地元に関連するページを原文で読むと、読むたびに新しい発見があります。

毎月第二・第四週の水曜日又は木曜日に集まり、古文書のコピーとスクリーンに映した拡大版を見ながら、難しくくずし字を判読する度に盛り上がっています。くずし字の読み方が諸説出てくるのも面白いところです。書いた本人に尋ねないと本



当のところはわからない字もありますが、なんとか判読できたら、内容や背景の理解にも努めています。予習・復習に励むヒトもいれば、その



福島市視察研修旅行の様子



場の雰囲気や話を楽しんでいるヒトもいます。

会の創立は古く、昭和五十年代に梅津会館（中央公民館）で川崎勝平さんを中心に古文書を読んでいた頃に遡るようです。時の経過と共に会員は入れ替わりりましたが、諸先輩方の趣旨を連綿と引継ぎ、古文書に親しんでいます。正月と八月には新年会・暑気払いがあり、古文書を解読後、会食を楽しんでいます。秋にはバスで日帰りの研修ツアーがあります。行先は県内外にある皆さんお馴染みの場所ですが、古文書と関連付けて行くと又新しい楽しみが生まれます。

古文書は外国語だと云う人もいます。くずし字が読めないから古文書は難しいと思われがちですが、根はもつと深いようです。正字（旧漢字）、漢文、変体仮名が衰退し、更に用語の意味や文体の変遷が重なり、古文書解読を難しくしています。このままでは、古文書だけでなく、昭和初期に書かれた文書も読めなくなるかもしれません。勿体ないですね。

一緒に、古文書を読みませんか。常時入会可です。

無料体験もあります。

初めての方も歓迎します。

問合せ otakomonjo@yahoo.co.jp

町田焼研究会

代表 川上 愛

町田焼とは、江戸時代の末に水戸藩第九代藩主徳川斉昭が勧めた産業振興策の一環として、町田村（現町田町）に築かれた窯で焼かれた陶磁器のことです。窯の有る斜面の上方には、水戸藩郷校のひとつ「町田郷校」が置かれていました。現在は水府小・中学校があります。



齊昭は藩主に就任すると、藩内で焼き物に適した陶土を探させ、原料の見つかった町田と小砂（現栃木県那珂川町）に窯を築いたと言われています。町田焼については、文献が少なく窯の設置から廃止までの経緯はよくわかっていませんが、『加藤寛斎随筆』によると、天保から明治の初めまでのおよそ二十数年間であったようです。その後再興される

こともなく、長く「幻の焼き物」とされてきました。

昭和五十八年に専門家により窯跡の存在が確認され、その後平成十五年に、当時の水府村教育委員会が主体となって本格的な発掘調査が行われました。その結果、焼成室が八室もある大型の連房式登窯であることが判明しました。中からは茶碗、皿などの破片や窯道具類が多数出土しました。現在その一部は、水府総合センターに展示されています。また、窯跡は調査終了後、風化による崩壊を防ぐため埋め戻されましたが、原型どおり表面に煉瓦を並べて復元し保存されています。

「町田焼研究会」は発掘調査にボランティアとして参加した地元有志により、町田焼の研究と復興を目指して平成十五年に結成されました。現在会員は九名で、市郷土文化保存伝習施設「こしらえ館」を拠点として、発掘調査に係わった山形県尾花沢市在住の陶芸家伊藤瓢堂さんの指導言を受けながら、資料の研究や製陶技術の習熟に取り組んでいます。また、地域の文化遺産である町田焼を若い世代に伝えようと、地元の水府小・中学校の児童生徒への作陶指導や、親子陶芸体験なども行っています。



すいふ友遊クラブ

代表 和田 峰子

「いい汗かいた!」「動いて体が軽くなったみたい!」すいふ友遊クラブの練習後にはこんな声が聞こえてきます。

すいふ友遊クラブは、運動を生活の中に取り入れ習慣化を目指すとともに、会員相互の親睦を図り、地域振興への寄与を目的として活動しています。平成二十五年に自主活動から始まり、翌年の四月一日に会員三十一名で設立されました。

現在の活動は、毎月第一・第三火曜日の午前九時半から十一時まで、水府総合センター二階研修室で、健康体操を実施しています。指導をしてくださるのは、リリー



こども&スポーツ専門学校教員の綿引理沙先生です。先生の指導は私たちを引きつける内容で、夢中にさせてくれます。また、専門的な説明や、少しつらい動きでも、先生がユーモアを交えてわかりやすく教えてくれるので、楽しく元気に運動を続けることができます。

練習は、ヨガマットでの柔軟体操及びストレッチ運動です。体をほぐす運動から始め、有酸素運動で筋力を使い、最後はアップテンポの曲が流れる中、エアロビックスのステップを踏み、全身を動かして終了となります。

他にも、スポーツ器具を用いた運

動もしており、チューブを使って上腕筋と肩甲骨を伸ばして筋力をアップさせる運動や、昇降踏台を使って下半身の筋力を強化する運動をしています。また、バランスボールを使った運動は全身の筋肉を鍛えるとともに、平衡感覚を身につけることができます。

一時間半という短い練習時間ですが、自分の筋力や体力、気力がアップした気分になり、練習後はとても充実した時間を過ごすことができます。また、仲間と一緒に運動することで、さらに達成感や充実感が湧いてきます。

この友遊クラブの仲間で、これから先も運動を通して元気に健康寿命を延ばしていきたいです!



女声合唱団 Seeds

代表 岡村 由紀子

みなさん、音楽は好きですか？ 私たちは平成十四年に里美地区で結成した合唱団です。現在活動しているメンバーは九名で、毎週水曜日の午後七時から九時まで、折橋町のピスターリさとみで練習しています。

発足のきっかけは、深谷貞榮先生率いる「男声合唱団となりのパパラ」の演奏に感動し、自分たちも歌いたいと先生にご指導をお願いしたのが始まりです。その後一人二人と誘い合い、縁あって里美に嫁いだ歌好きのママたちが集うようになりました。英語で種を意味する Seeds という団体名には、小さな音楽の種が少しずつ成長していければとの想いが込められています。

主な活動としては、「常陸太田市民音楽会」や「ひたちおおた市民ふれあいコンサート」への参加と市内外での慰問活動です。また、結成四、八、十、十五周年には、里美文化センターやパルティホールにてコンサートを行いました。そして、昨年七月には、日立市のシビックセンター音楽ホールにて、高萩市の女声合唱団「コー・リベルタ」と合

同で、ふれ愛コンサートを開催しました。

結成して十七年の間、合唱曲はもちろん、童謡や歌謡曲、映画音楽など、数えきれないほどの楽曲に取り組んできました。その中でも、情熱的な旋律が魅力の『落葉松』、四つのパートが織り成すハーモニーが美しい『にっぽん昔ばなし』、亡き団員との思い出が詰まった『無縁坂』は大切な楽曲です。今まで活動を続けてこれたのも、ピスターリさとみ会のみなさん、ピアノニストの石川雅江さん、皆川久子さんのお陰と感謝しております。そして何よりも、常に愛情いっぱいにご指導くださる深谷先生に感謝するばかりです。「歌詞の意味を大切に。あつたかい言葉で。」という先生の教えに少しでも近づけるよう、これからも、団員の心を一つに合わせ、音楽に心を込めて歌い続けたいと思います。



ふれ愛CONCERT  
2018. 7. 22 シビックセンター音楽ホール



# 視察研修に参加して

## 膨大な資料に感動

常陸太田短歌会  
代表 飯嶋 武



日頃の活動の成果を発表する生涯学習フェスティバル・ひたちおおた芸能祭も成功裏に終了しました。翌日の二月二十六日、恒例の文化団体連合会視察研修に五十二名の会員が参加し、和やかに楽しく挙行されました。

当日は薄曇りでしたが、春の気配の感じられる好天候に恵まれ、佐倉市の国立歴史民俗博物館と成田市の成田山新勝寺を目指して定刻通り出発しました。バスの中では、黒羽会長の挨拶後、自己紹介を兼ねて各団体の日頃の活動状況が紹介され、終了後は会員同士の和気藹々とした会話が続き中、バスは一路目的地に向かって快走し、最初の研修地である国立歴史民俗博物館に到着しました。

佐倉城址の一角、約十三万平方メートルの敷地に建つ延べ床面積三万五千平方メートルの壮大な規模の博物館には、我々の想像を絶するほど総合的で膨大な日本歴史の研究・展示物があり、圧倒されました。平安時代の艶やかな王朝文化を象徴するような豪華な十二単、学問的に裏付けられた精密な建築の復元模型、京都の町並みや江戸時代の庶民生活を緻密で正確に再現した模型など、予定された時間内には到底見学不可能な程の膨大で圧倒的な展示資料により、日本の歴史と文化について理解を深めることができました。

第二の研修地・成田山新勝寺は、平安時代中期に創建され、開基以来約一〇八〇年の歴史を誇る不動明王信仰の一大中心地で、初詣客約三百万人、年間参詣者一千万人を迎えるお寺です。広大な境内には、大本堂、平和大塔、薬師堂、国の重要文化財である三重塔や釈迦堂、光明堂などが建立されており、総てを参詣することはできませんでしたが、国宝級の建物の精巧さや言うに及ばず、無数の仏像の豪華絢爛さにも深く感銘しました。特に、釈迦堂の二十四孝と五百羅漢の浮彫りは強烈に感動を覚えました。

日本の歴史・民俗について教養を身につけ、さらに人々の信仰の深さに感動し、帰路は歓談尽きず定刻に常陸太田市に戻ってきました。



常陸太田市文化団体連合会 加盟団体名簿

平成31年 3月現在

部門	No.	団体名	代表者等氏名	部門	No.	団体名	代表者等氏名	部門	No.	団体名	代表者等氏名
美術	1	常陸太田市彩友会	菊池 尚	舞踊・ダンス	33	やまぶきフォークダンス会	金沢 恵子	工芸・手芸	64	常陸太田市パッチワークキルト・フープの会	小川 俊江
	2	常陸太田水墨画協会	斉藤 俊彦		34	フラダンス同好会	飛田 博子		65	クラフト会	鈴木けい子
	3	舞鶴水墨会	斉藤 俊彦		35	太田フォークダンス会	黒田久米子		66	パッチワークの会	安島 成子
	4	サタデー油絵クラブ	関 とき子		36	フラダンス・サークル	野田 直美		67	町田焼研究会	川上 愛
	5	常陸太田市美術協会	山本 満男		37	Space HAG	片根真知子		68	金砂郷洋裁サークル	平山 智子
	6	里美書道会	須藤 時男		38	フイ・フラ・オ・アロハナ	根本有美子		69	常陸太田市さつき盆栽会	谷田部武夫
	7	里美絵手紙会	佐川 悦子		39	天神林町天神ばやし保存会	清水 尚		70	常陸太田一步会	今野 菊夫
	8	水府書道会	大森 定夫		40	常陸太田県北地ばやし保存会	黒羽 義信		71	常陸太田市囲碁連盟	小祝 正盛
	9	ときわ水墨画会	山田 稔		41	霞朗詠会太田正吟会	小野瀬クニ子		72	ひたち太田生物友の会	佐々木泰弘
	10	里美陶芸クラブ	豊田みどり		42	常陸太田民謡楽鵬会	川又 照雄		73	茶道・茶都美会	高延 智栄
	11	アート萌サークル	岡崎 静男		43	常陸太田市民謡協会	川又 照雄		74	里美囲碁会	佐川 京平
	12	実用書道の会	大内 京子		44	常陸太田磯部都々逸保存会	柳橋 進		75	太田華道会	大鷹 敏子
	音楽	13	たたら会		斎藤 忠良	45	常陸太田藤流吟道会		棚井 浩	76	あじさい会
14		常陸太田市音楽協会	小野瀬 誠	46	松栄鳴物保存会	安 一麿	77	コスモスイけばな	三次満佐子		
15		箏栄会	杉野 栄子	47	さとみ吟詠会	朝日 光臣	78	里美盆栽会	高星 勝幸		
16		常陸太田市歌手連絡協議会	池田 信義	48	里美太鼓会	大金 博紀	79	太極拳やまぶきの会	根本 悦子		
17		金砂郷ふるさと合唱団	鈴木 賀子	49	里美華翠連	興野由美子	80	常陸太田ウォーキングクラブ	石橋 秀雄		
18		大正琴教室微風	大内 照代	50	茨城楽枝会水府支部	小池 秀雄	81	サークル花水木	於能孝子		
19		ハーモニーふじ	海老根 敬	51	常陸太田市太鼓連盟	清水 尚	82	日本盆栽協会常陸太田支部	安島 節郎		
20		里美カラオケ連合会	井坂 和男	52	都々逸教室	田所 章勝	83	いけばなサークル森田社中	井上 和枝		
21		女声合唱団 Seeds	岡村由紀子	53	さたけ太鼓の会	松本 豊彦	84	いけばな川上	曾根てる枝		
22		ハンドベルサークルアフェット	黒澤留美子	54	葵の会	小林 捨寿	85	常陸太田菊友会	鈴木 三夫		
23		ポニー・アイランダーズ	須藤三生郎	55	常陸太田短歌会	飯嶋 武	86	常陸太田市茶道連合会	小松 宗茂		
24		水府オールスターズ	吉沢 良和	56	中国語講座ニイハオ倶楽部	江幡 隆広	87	常陸太田山草会	石川 和子		
25		常陸太田歌謡研究会	山平 鈴子	57	常陸太田まちかど案内人の会	原田 静雄	88	すいふ友遊クラブ	和田 峰子		
舞踊・ダンス	26	太田ハーモニカ教室	後藤 静江	58	常陸太田古文書に親しむ会	大内 仁	89	西山パソコン04サークル	海老根志津子		
	27	アンサンブルかわせみ	高野 修	59	ふる里の祖歴を学ぶ会	片野 勝利	90	西山パソコン愛好会	大須賀克己		
	28	オカリーナ カワセミ	後藤 律子	60	金砂郷おむすびの会	井坂さと美	91	花サークル Ivy	茂又 恵子		
	29	五月会	古川奈美子	61	金砂大田楽研究会	根本 義勝	92	中城町女性の会 花水木	大貴 直子		
	30	優柳会	安藤加代子	62	常陸太田の黄門様検定会	石川 誠	93	フラワーアレンジメントの会	中野由美子		
	31	いずみ舞踊会	小林 一久	63	常陸太田ビデオ研究会	黒羽 文男	94	ワハハほんぼ太田	早川 初江		
	32	社交ダンス やまぶき会	平澤 正弘								

編集後記

暖かい日が続く今日この頃、年度末を迎え、もうすぐ新年号になるのかと、しみじみ考えながら、機関紙の編集をしていました。

今回は加盟団体の皆様にご協力いただき、『ひたちおおたの文化第21号』を無事に発行することができましたこと、御礼申し上げます。ありがとうございました。

本年度も会員以外の方に当会の活動を知っていただきたいと思い、この機関誌を全地区回覧とさせていただきます。入会したいというお話がありましたら、ご対応をお願いします。

「鯨ヶ丘ひな祭り 第11回パッチワークキルト展」の様子(左上)、「茨城県市長会自治功労者表彰式」で前会長である飯嶋武さんが市を代表して表彰されたときの様子(左下)の計4枚の写真を掲載させていただきました。写真を選ぶのに苦労しましたが、皆様の活躍している姿を見ることができ、とても嬉しく思います。

最後になりましたが、今後とも本市の芸術文化振興について、格別のご理解ご協力をいただくとともに、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

【常陸太田市文化団体連合会事務局】  
 常陸太田市教育委員会文化課文化振興係  
 〒313-0055常陸太田市西二町2200番地  
 TEL 72-3201 FAX 72-3310

◆  
 機関誌の表紙に、「第26回ひたちおおた芸能祭」で天神林町天神ばやし保存会が演奏している様子(右上)や、「第60回常陸太田市美術展覧会」で市長賞を受賞した作品(右下)、常陸太田市パッチワークキルト・フープの会による